

## 地域連携推進会議 議事録

作成日 2026. 3. 10

日時 : 令和 8 年 3 月 10 日(火) 10:30~12:00
場所 : 夢ハウス リビング
出席者:【構成員】4名 地域の関係者 2名 家族代表 1名 (咲楽ホーム) 利用者代表 1名 (夢ハウス)
【職員】5名 園長・管理者・担当課長・サービス管理責任者・生活支援員

内容
(1) 開会のあいさつ (園長) 各構成員への参加の感謝を述べ、地域連携推進会議を行う意義について説明をした。
(2) 出席者の自己紹介 出席者一人ずつ自己紹介を行った。利用者は、聴覚にも障害があるため、筆談にて自己紹介を行った。
(3) 会議の目的 パワーポイント資料により、以下の内容について説明を行った。 ①障害者支援施設・共同生活援助の概要及び課題点 ②地域連携推進会議の4つの目的と会議の役割 ③構成員の役割 ④施設訪問時に確認するポイント
(4) グループホームの紹介 パワーポイント資料により、以下の内容について説明を行った。 ①弘済学園グループホームの変遷 ②現在のグループホームについて 【夢ハウス】 ・男性専用 ・定員4名 (現在4名の方が入居中) ・就労者等が対象

- ・全て J R 東日本環境アクセスに就労している方が入居中
- ・2015（平成 27）年 4 月に開設
- ・利用している就労者の地域生活を支えることで、継続して就労していけるよう支援することを目的としている

**【咲楽ホーム】**

- ・男性専用
- ・定員 5 名（現在 4 名の方が入居中）
- ・併設型短期入所 1 名
- ・弘済学園デイケアセンター（生活介護 1 名・就労継続支援 B 型 1 名）へ通所している方、J R 東日本環境アクセスに就労している方 2 名が入居中
- ・2022（令和 2）年 6 月に開設
- ・家庭生活を向上させるための自立訓練的な支援を主な支援内容に据え、地域における家庭生活を支えることで在宅生活の継続や、将来的に G H 等での自律的な生活への移行も視野に入れて支援を行っている。

(5) 地域との連携・理解の促進

パワーポイント資料により、以下の内容について説明を行った。

- ①障害の理解について、障害特性について説明を行った
- ②近隣からの意見や苦情等：なし
- ③地域行事等への参加：たばこ祭りやパラスポーツ教室、また、毎月の移動支援を利用して行った場所等を例に挙げ説明した
- ④地域とより良い関係を作るための自由な意見交換
  - ・（地域の関係者）地域の人と学園の利用者との関わりについて  
「一住民として利用者の人たちと直接関わる機会はないかもしれないが、地域の中で挨拶を交わしたり、ひなた祭りでは同じ体育館で秦野高校の人たちの演奏を一緒に聴いたりと同じ空間を共有させてもらった。」
  - ・（家族代表）弘済学園のグループホームについて  
「弘済学園のグループホームは専門性が高く、支援がとても手厚い。親身になって向き合ってくれるので家族は安心して預けることができている。」
  - ・（利用者代表）グループホームでの生活について  
「この間の調理プロのお好み焼きはとてもおいしかった。」
  - ・（施設職員）弘済学園グループホームと地域との関係  
「弘済学園は昭和 47 年に千葉からこの場所に移転してきた。当時は周りに住宅が全くなく、徐々に住宅が建っていき、地域の中の弘済学園、グループホームとなっていった。しかしまだ地域の中でのグループホームとは言いづらい。だからこそ、こちらからもっと関わりを作っていかなければと感じている。本日はいろんな意見を頂戴したい。」

(6) サービスの透明性・質の確保と利用者の権利擁護

パワーポイント資料により、以下の内容について説明を行った。

①利用者の生活や普段の様子について

日常生活と調理プログラムの様子の動画（概ね 10 分）にて説明を行った

②BCP（業務継続計画）について

感染症や災害発生時の基本方針の説明を行った

③虐待・事故、ヒヤリハット：「119 番通報」の虚偽通報

④生活支援員への研修等について

- ・夜間想定避難訓練（7 月と 12 月に実施）
- ・虐待防止・身体拘束適正化研修（児童入所部門と合同で毎月実施・GH 単独では 2 月に実施）
- ・感染症・食中毒研修（6 月と 11 月に実施）
- ・世話人・夜間支援員のミーティング（毎月実施）
- ・生活支援員のミーティング（モニタリング・評価会議含む）（毎月実施）

⑤利用者の希望や意向について

- ・「休日相談」「おはなしの時間」を月に各 1 回以上行い、職員と一対一で話をする時間を設けている。この時間にて、移動支援を利用して行きたい場所等を確認したり、就労等している中での相談事や悩み事を聞いたりして、仕事等へのモチベーションにつながるよう進めている。
- ・JR 東日本環境アクセスへ就労している方を中心に月に 1 回「自治会」を開催し、調理プログラムで何を食べたいか？何を作りたいか？等、各々の意見を聞き取り、その意見を踏まえメニューを決めている。
- ・個別支援計画作成に係るヒアリングの実施。

(7) 質問・その他自由な意見交換

Q. 利用者の食事は個別で食べているのか

A. 食事の時間は概ね決まっており、ダイニングで集まって食事をするが、食べ始めの時間は、各々の準備が整ってからになるため、個別で食べる利用者もいる。

Q. 夕食と朝食の提供の仕方はどのようになっているのか

A. 世話人の勤務が 15:00～19:30 となっている。世話人には、出勤後、当日の夕食を作ってもらい提供している。朝食については、前日に世話人が作り置きしたものを職員や利用者が電子レンジで温めて食べている。食材やメニューは取引業者に依頼をし、平日に配送される。基本的には、メニュー表に沿って調理をするが、時には世話人自身が工夫を凝らしながら（メニューでは、チキンソテーだが、利用者の様子や状態を見ながら、唐揚げにするなど）提供している。

<p>Q. 各利用者は余暇時間で何をしているのか</p> <p>A. ビーズ遊びや競馬中継を視聴、ウォークマンで音楽を聴く人や筋トレ、ボウリングに出かけるなど各利用者で様々な余暇を過ごしている</p> <p>Q. 今現在、咲楽ホームと夢ハウスで契約待機者はいるのか。また入居している方々は契約期間などはあるのか</p> <p>A. 待機者は今現在おらず、ようやく次年度の4月に満床となる。また、当施設では、「弘済学園デイケアセンター利用中」、「JR東日本環境アクセス就労中」という有期限利用としている</p> <p>Q. 利用者の年齢層は</p> <p>A. 最年長の方で41歳、最年少で23歳。平均年齢は33歳くらいになると思われる</p> <p>Q. 利用者の金銭管理はどうしているのか</p> <p>A. 基本は職員が管理している。一人だけ利用者自身で管理している人がいるが、出納帳と手持ち金に、時々ずれが生じていることがあるため、月に1回、本人と生活支援員とで出納長と手持ち金の確認を行っている。</p> <p>Q. 給料や工賃の全てを管理しているのか</p> <p>A. 就労者に対しては、入居する際に、ゆうちょ銀行の通帳を作ってもらい、各保護者に月3~5万円程度振り込んでもらっている。それを利用者と一緒に必要額を下ろしている。工賃受給者においては、概ね月1万円を保護者に持参してもらうようにしている。</p>
<p>(8) 施設見学</p> <p>夢ハウス→咲楽ホームの順で見学を行う。また、本日参加の利用者代表者に許可をもらい、居室内も見学。見学の際には、質問等があり、その都度、施設職員から説明を行った。</p>
<p>(9) 閉会</p> <p>(園長) 構成員に謝辞を述べ、次年度も地域連携推進会議を開催する旨及び参加依頼を行った</p>